

株式会社村田製作所の研究開発拠点

の整備に伴う不動産売買契約を締結

〒地域振興課 ☎(582)1165 ☎(582)1166

3. 村田製作所の研究開発拠点の概要 (令和3年8月11日の公表内容)

- (1) 業務内容 製品開発や製品応用などにかかる研究開発の拠点
- (2) 投資額 約128~200億円(建物・償却資産含む)
- (3) 雇用人数 1,000~1,600人
- (4) 延床面積 32,000~50,000㎡



(参考)村田製作所 みなとみらいイノベーションセンター

※詳細は法規制や地元などとの調整を踏まえ、今後検討されます。

- (5) 主な地域貢献
 - ・非常時の電源供給(携帯の充電など)や避難スペースの提供など地域防災
 - ・企業展示や施設見学会などの検討
 - ・STEAM教育や出前事業の実施などによる地域学習

(6) 今後のスケジュール

- 令和4年夏ごろ 市の要請に基づき村田製作所による既存施設解体着手
- 令和5年度 新施設建設着工
- 令和7年度 新施設竣工・開業 ※法手続きなどの状況により、変動する場合があります。

株式会社村田製作所 中島 規巨 代表取締役社長からメッセージ

守山市に新たな研究開発拠点を設ける機会をいただけたことを非常にうれしく思います。株式会社村田製作所の経営理念である社是には、「文化の発展に貢献する」という一節があり、これを当社の存在意義と位置付けています。

今後具体的な拠点の構想を進めてまいります。この素晴らしい場所で、社内外の皆様との交流や協業など先進的な製品開発をさらに積極的に行うことで、文化・社会の発展に寄与していきたいと考えています。

村田製作所は2021年11月に新たな長期構想としてVision2030を策定しました。ここでは「社会価値と経済価値の好循環を生み出し、豊かな社会の実現に貢献すること」をありたい姿として掲げています。ありたい姿の実現に向けては、企業活動全体での社会課題への取り組みや事業を通じた社会課題解決への貢献が必要となります。守山新拠点の設立を通じて、そうした取り組みを加速させたいと考えています。

新拠点設立にあたり、コンセプトの一つに「共生」を挙げています。STEAM教育や出前授業、技術の紹介などを通じて、守山市の皆様へ村田製作所のことを知っていただくとともに、新拠点の存在が守山市民の皆様のご喜びや誇りになるよう努めていきたいと考えております。

村田製作所はスローガンとして、「Innovator in Electronics」を掲げています。守山新拠点で、他の事業所とも連携しながら、新たなイノベーションを生み出し、さらなる文化の発展に貢献してまいります。

4. スポーツ広場などの利用継続

(1) スポーツ広場

村田製作所は都賀山荘の解体工事中も、令和5年3月31日までの間、現スポーツ広場が利用可能となるよう配慮されますが、工事の進捗に伴い使用できる範囲が変更される場合には、利用者に事前周知いたします。なお、令和5年4月1日以降は、代替施設として立入公園を暫定供用の予定です(詳細は、12頁に掲載)。

(2) JR貨物敷地の駐車場

JR貨物敷地の駐車場の入口は令和5年3月31日までの間、今までどおり利用可能です。なお、令和4年6月1日(予定)から村田製作所が都賀山荘を解体することに伴い、解体ヤードの確保のため、進入路の幅が狭くなります。令和5年4月1日以降の駐車場の出入り口は、「5.東口のあり方検討」の中で鋭意検討を進めます。

5. 東口のあり方検討

(1) 検討内容

JR守山駅周辺を含めた現状の交通量調査を行う中で、人や車両の通行量を含めて、JR守山駅東口ロータリーに必要な機能やその容量を整理し、東口全体の今後のあり方を総合的に検討します。

(2) 検討スケジュール

- 令和4年度上期 交通量調査や条件などの整理
- 令和4年度下期 駅東口整備方針の取りまとめ

1. 不動産売買契約に至る経緯

4月21日に、守山市議会においてJR守山駅東口の市有地9966.75㎡を株式会社村田製作所(以下、「村田製作所」という)に譲渡することについて議会議決をいただき、同日付けで不動産売買契約を締結しました。村田製作所の研究開発拠点の整備は、市内最大級の雇用を生み出すこと、また、研究開発という頭脳集積を図るものであり、雇用・税収・地域経済の活性化の観点から、今後の展開が大いに期待されます。

○令和3年8月11日、守山市および村田製作所において、村田製作所の新施設整備などにかかる基本的事項について相互理解と合意が整い、今後、詳細協議を開始することを公表しました。また、一般財団法人守山野洲市民交流プラザ(以下「一般財団」という)は、コロナ禍による影響を踏まえ、事業の再構築を判断されました。

○守山市・村田製作所・一般財団の三者で①村田製作所による研究開発拠点の整備、②一般財団による「都賀山荘」の整備、③都市計画公園・立入公園の整備について詳細協議を行った結果を踏まえて令和3年12月15日~令和4年1月5日にパブリックコメント手続きを実施し、広く市民の皆さまからご意見をお聴きしたうえで、具現化方針を取りまとめました。

○1月20日、村田製作所と守山市との間で土地譲渡の方法、都市計画の手続き、研究開発拠点の建築・整備、駅前スポーツ広場の取り扱い、地域貢献について相互に確認し、「企業立地に関する基本協定書」を締結しました。

○3月31日、今回の村田製作所の研究開発拠点が環境への配慮、公開空地・通路、セットバック・地域貢献施設を整備すること、さらに施設立地による頭脳集積や大きな雇用・税収増・地域の発展に大きく寄与することを評価し、「再開発等促進区」を決定しました。

○4月21日、守山市を売主、村田製作所を買主とする不動産売買契約を締結しました。



4月21日、契約書を交換し握手する村田製作所の中島 社長(右)、宮本 市長(左)、藤木 猛 市議会議長(中央)

2. 不動産売買契約の内容

(1) 契約の相手方

京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
 株式会社村田製作所
 代表取締役社長 中島 規巨

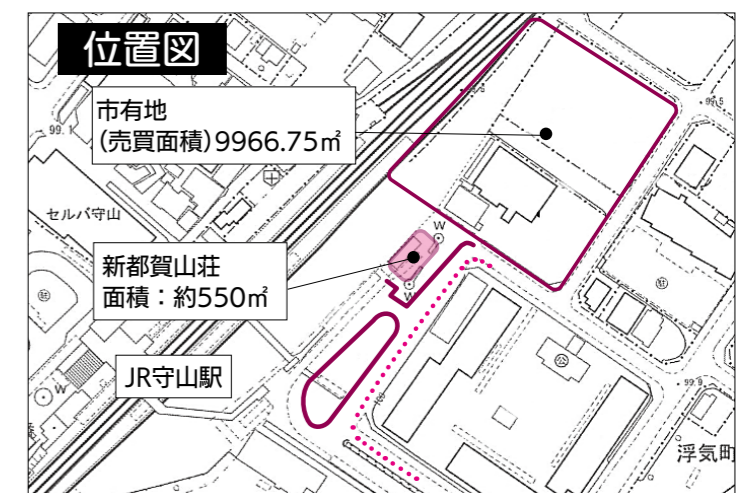
(2) 契約締結日 4月21日

(3) 契約額 3,641,180,750円

※売却にあたっての土地の評価額については、4月1日を基準日とし、複数の鑑定評価を取った中で公正で適正な価格設定を行いました。

※市有地処分により取得した費用は、将来のまちづくりを見据え、財政調整基金(10億円)、福祉基金(10億円)、公共施設整備基金(16億3,300万円)を積み立てました。

(4) 売買面積 9,966.75㎡



位置図

市有地
(売買面積)9966.75㎡

新都賀山荘
面積:約550㎡

JR守山駅

セルバ守山

浮気町